資料２

令和７年度　犬山城関連主要事業の実績について

１．犬山城の保存活用に関する事業

（１）石垣調査の実施

＜石垣調査＞

○史跡犬山城跡の石垣の三次元測量等を行い、現状を調査して石垣カルテを作成し、保存・修理のための基礎資料とする。

実施個所：樅の丸、桐の丸、七曲等

委 託 先：株式会社アコード名古屋営業所

調査期間：令和７年５月２３日～令和８年３月２７日

委託金額：７，０４０，０００円

＜石垣年代調査＞

○犬山城に残る石垣を他城の石垣と比較することで、その特徴を明らかにするとともに、文献資料、絵図等と照合することにより、石垣の構築年代、修理年代を推定する。

実施個所：本丸、杉の丸、樅の丸、松の丸

委 託 先：名古屋工業大学濱田晋一准教授（受託研究）

調査期間：令和７年１０月２３日～令和８年３月３１日

委託金額：６７６，６５４円

（２）犬山城城郭内樹木剪定伐採

○国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画に基づき、遺構、眺望、来訪者、植生、景観に影響がある樹木を対象に、剪定・伐採等を実施。

内　　容：

①樹木剪定・伐採

委託期間：令和７年８月２９日～１１月２８日

委 託 先：有限会社芳葉園土木

杉の丸西側、樅の丸東側、大手道地区、松の丸地区西側の城山外縁にて樹木３０本の伐採、９本の剪定を実施。

委託金額：８，６３５，０００円

②樹木伐採

委託期間：令和８年１月１９日～３月９日

委 託 先：有限会社芳葉園土木

杉の丸東側、杉の丸東側の城山外縁の樹木５３本の伐採を実施

委託金額：９，５７０，０００円

（３）犬山城大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）遺構確認調査

○史跡整備基本設計に必要な情報を得るため、大手口北側の土塁の北端、枡形南側の堀の北端を確認するための発掘調査を実施。

実施個所：調査区４か所、８４㎡

委 託 先：株式会社アーキジオ中日本支店
調査期間：令和７年５月２日～令和８年３月２７日
委託金額：７，１６５，４００円

（４）犬山城大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）整備基本設計

○犬山城大手門枡形跡の一部である犬山市福祉会館跡地の史跡整備のための基本設計を実施。

＜史跡整備基本設計＞
委 託 先：株式会社フジヤマ名古屋支店
委託期間：令和７年６月２４日～令和８年３月２７日
委託金額：１４，７４６，８００円
内　　容：①地盤調査
②遺構表示の条件及び方法の検討
③施設等の意匠・構造検討
④説明・案内施設、模型等の展示検討
⑤電気、機械、給排水設備の検討
⑥造成、植栽等環境整備の検討
⑦基本設計図の作成

＜便益施設基本設計＞

○犬山城大手門枡形跡の一部である犬山市福祉会館跡地における便益施設建設のための基本設計を実施。
委 託 先：合同会社斎藤信吾建築設計事務所
委託期間：令和７年１０月２日～令和８年３月１９日
委託金額：６，９２６，７００円
内　　容：便益施設（建築物）の基本設計

（５）犬山城防災対策計画策定

○国宝犬山城天守における火災の発生防止、早期覚知、初期消火、避難誘導、救助及び管理、消防隊による消火活動から風水害、地震にわたる防災に関する総合的な検討を行い、それを実現するための手法を定めた「犬山城防災対策計画」を策定することにより、防災設備改修などのハード、警備・運営などのソフトの両面からの防災対策強化を計画的に進める。合わせて、天守の地震及び風水害対策や、石垣を中心とした史跡犬山城跡の防災も計画に位置付け、来訪者の安全確保、史跡の恒久的保存に万全を期す。令和８年３月に計画策定を完了した。
策定体制：犬山城防災対策検討委員会
策定期間：令和５～７年度

（６）犬山城天守高欄等の修理工事に向けた設計図書作成

○次の３ヶ所について、令和７年度に設計図書を作成し、令和８年度に発注・施工を予定している。

＜天守４階高欄修理工事＞

工事内容：

①高欄の束と地覆の接合部の腐朽及び痩せ、縁板欠損部などにより生じている隙間について埋木修理を行う。

②雨掛かりによる腐朽の進行を防ぐため、高欄及び縁板に防腐剤を塗布する。

③４階外壁と縁板の接合部の水切銅板際の劣化したシーリングを打替える。

＜天守３階東西破風の間突上戸修理工事＞

工事内容：

①破風の間突上げ戸の既存蝶番が抜け落ちてしまっており、原位置に打ち直すには母材の痛みが大きく埋木によっても耐久性の確保が難しいため、既存蝶番の脇に蝶番を新設し戸を留め付ける。

＜天守地下２階階段西側手摺修理工事＞

工事内容

①天守地下２階から地下１階に上がる階段西側の手摺の最下段の親柱と籠桁の接合部が劣化し緩んでいることから、同親柱脇に添え柱を当て、その上部を梁に固定し補強することで、既存の手摺及び親柱のぐらつきを改善する。

（７）「近世城郭の天守群」の取り組み

○令和７年度の主な事業は以下のとおり

・国宝五城同日での天守合同床磨きを開催（令和７年８月２３日）

・市民レベルの交流の場として「３市市民交流会」を松江市で開催し、松江城の保存に係る取組みについて学んだ（令和７年１２月２５・２６日）

・ＩＣＯＦＯＲＴ（城塞軍事遺産国際学術委員会）前委員長の趙斗元先生を招聘し、国内の専門家と３県３市担当者で意見交換会を開催した（令和８年１月３１日）

・長野県及び３市より「近世城郭の天守群」提案書（改訂版）を文化庁へ提出（令和７年１０月２９日）

（８）令和７年度歴史まちづくりセミナー「まちづくりと世界遺産」

○「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取り組みとして、國學院大學教授の西村幸夫氏を招き、世界文化遺産に関する講演会を開催した。

日　　時：令和８年１月２５日　午後２時～４時

場　　所：犬山市役所２階　２０５会議室

講　　師：西村幸夫氏（國學院大學教授）

参 加 者：３８名

（９）犬山城みらいサポーターの取り組み

○未来を担う子どもたちが主役となり、犬山城に愛着を持ち、市民の力で美しく後世に引き継ぐため、犬山城みらいサポーターを結成。この取組は、近世城郭の天守群による世界遺産登録を目指す市民活動の一つとして発展させ、情報発信や市民参加の促進（犬山城みらいサポーター）により、世界遺産登録に向けた機運の醸成を図る。

令和７年度の活動は以下のとおり

第１回　国宝五城天守合同床磨き
※松本城、姫路城、松江城、彦根城との合同で同日、同時刻に開催
令和７年８月２３日　参加者　１８名＋保護者

第２回　犬山城のいちおしポイントを探そう
令和７年１２月１４日 参加者　１６名＋保護者
※欠席者向け追加開催
令和８年１月２４日　　参加者　３名

第３回　犬山城のいちおしポイントを紹介しよう
令和８年３月１４日　参加者　１１名＋保護者

２．犬山城の管理に関する事業

（１）主な維持・修繕

○女性用トイレの手洗い排水管、化粧板、和便器の修繕を実施
（令和７年９月２２日）

○犬山城天守高欄の間、階段等のカーペットの張替修繕を実施
（令和７年１２月２９～３１日）

○犬山城投光器（トイレ横）の修繕を実施
（令和８年２月２５日）

○空堀、城山西斜面周辺の草刈りを７月、９月及び１１月に実施

（２）犬山城の消防訓練及び無料開放の実施・防災対策強化

○貴重な文化財保護の大切さを周知するため、１月２６日の文化財防火デーに合わせ消防訓練及び無料開放を実施

・日　　時：令和８年１月２６日（月）午前１０時～正午
・参 加 者：５０名（犬山城２８名　消防本部・署・消防団１８名　歴史まちづくり課４名）
・無料開放：午前９時～午後５時（最終入場午後４時３０分）
・入場者数：１，５７０人

●総合訓練
・内　　容：文化財の防災意識を高めるとともに火災発生時の初動対応を円滑に行えるよう、犬山城職員、消防本部・消防署との合同消防訓練を実施。
・想　　定：午前１０時頃、不審者の放火により天守２階南西付近から出火し、多くの来城者がいる。

●ＡＥＤ操作訓練
・消防職員の指導のもと、訓練人形を使ってＡＥＤ操作の方法を学ぶ「ＡＥＤ操作訓練」を実施する。

○令和７年度　犬山城消防設備操作訓練
・夜間警備業者に対して発災時に有効な初期対応ができるよう、夜間火災発生時の対応マニュアルに基づき、犬山城の消防設備の操作方法の説明および、実施訓練を行った。

・日　　時：第１回　令和７年４月１５日　午後５時３０分～６時３０分
　　第２回　令和７年４月１７日　午後５時３０分～６時１５分
　　第３回　令和７年４月１８日　午後５時３０分～６時４５分
　　第４回　令和７年５月　８日　午後５時３０分～６時５０分
・参 加 者：８名（犬山城２名　夜間警備員６名）

〇夜間初動対応訓練（火災を想定）
・夜間における火災発生に迅速的確に初期対応を行えるよう、夜間警備員を対象に初動対応訓練を実施。犬山城防災対策検討委員会で検討されている内容を元に実施。
・日　　時：第１回　令和７年９月３日　午後５時５５分～７時３０分
　　第２回　令和７年９月９日　午後５時５５分～７時１５分
・参 加 者：８名（犬山城２名　夜間警備員５名　歴史まちづくり課職員１名）